

平成28年9月12日

平成28年8月20日からの大雨及び

台風第10号による出水の概要

～全道89地点で月の降水量の極値（1位）を更新した雨に対応しました～

北海道に観測史上初めて3つの台風が上陸し、石狩川、常呂川などを中心に大きな出水となり、その1週間後、再び台風第10号の接近・通過に伴う大雨により十勝地方と上川南部を中心に大きな出水となりました。この8月の出水の概要について取りまとめ、北海道開発局ホームページへ掲載しましたので、お知らせします。

8月17日～23日の1週間に3つの台風が北海道に上陸し、道東を中心に大雨により河川の氾濫や土砂災害が発生しました。また、8月29日から前線に伴う降雨があり、更に、台風第10号が北海道に接近しました。その結果、8月の月間降水量は、道東の太平洋側の広い地域で平年の2～4倍となる500mmを超える大雨を観測しました。また、度重なる大雨により常呂川、十勝川等では、観測史上最も高い水位を記録し、全道的な被害が発生しました。

北海道開発局では、24時間体制で気象及び河川等を監視し、洪水予報や水防警報等の発表を行うとともに、ダム等の管理施設の操作を行いました。あわせて自治体にリエゾンを派遣し情報収集や支援についての調整を行うとともに、自治体からの要請を受け、災害対策車によるはん濫箇所等の排水作業を行うなどの支援を行いました。

また、堤防が決壊した常呂川、札内川、空知川などの被災箇所においては、緊急復旧工事等を行い、速やかな復旧を行いました。

詳細資料は、以下のリンクからアクセスして下さい。

[資料1 \(PDF形式11.3MB\)](#)

[資料2 \(PDF形式9.8MB\)](#)

※リエゾン（現地情報連絡員）

…災害時、北海道開発局から自治体へ連絡員を派遣し、両者相互の情報共有や連携を密にするものです。

【問合せ先】	北海道開発局 建設部 河川管理課	電話(ダイヤルイン)011-709-2347
	水災害予報センター長 山田	(内線 5323)
	河川調整推進官 空閑	(内線 5288)
	水災害予報専門官 五十嵐	(内線 5529)